

「電車キャンプ」の広がりに着目した アウトドアにも使えるスーツケース「テオフィールド OD」発売

バッグメーカーのエース株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：森下宏明）は、バッグ&ラゲージブランド「ace.（エース）」から、旅行にもアウトドアにも使えるスーツケース「テオフィールド OD」を発売します。近年広がる「電車キャンプ」に着目し、洗濯可能な内装や保冷バッグを備え、アウトドアシーンでの使いやすさを高めました。2026年3月25日（水）より、直営店、オンラインストア、全国の主要百貨店・専門店で順次発売します。

【開発背景】

近年、車を持たない若者の増加や渋滞回避志向を背景に、電車でキャンプ場に向かう「電車キャンプ」が広がっています。一方で、キャンプは荷物が重くかさばりやすく、現地までの移動負担が大きいことが課題でした。そこで当社は、旅行用品として培ってきたスーツケースの機能性をアウトドア向けに拡張し、洗濯可能な内装や保冷バッグを備えた「テオフィールド OD」を開発。背負わずに荷物を運べることで、体力や年齢にかかわらずアウトドアを楽しみやすい環境づくりにつなげます。

【機能紹介】

洗える内装でキャンプ後も清潔に

アウトドア用品で汚れた際や、衣類のにおい移りが気になる場合は、ボトム収納部の内装を取り外して洗濯できます。※液温 40℃を限度とし、洗濯ネットを使用して洗濯機で弱洗濯処理ができます。乾燥機には対応しません。

食材の持ち運びに便利な保冷バッグ

手提げと肩掛けの2WAYで使える保冷バッグを付属。食材や飲み物を適温で持ち運びやすく、移動の際はセットアップベルトを用いてスーツケースに固定することもできます。

荷物に合わせて選べる開閉&収納方法

フロントオープンとセンターオープンを切り替えて使える独自構造を採用。開閉方法によって、かさばるキャンプ用品を収納しやすい1気室収納と、旅行のパッキングに便利な2気室収納を使い分けられます。

その他の機能

- ・葉や雲をモチーフにした迷彩柄を採用。自然に溶け込み、空港で見つけやすいデザインです。
- ・縦長のトランク型設計で、狭いテント内で寝かせても省スペース。簡易机としても活用できます。
- ・段差や悪路に強い大型 60φ 双輪キャスターを搭載。キャンプ場までの移動負担を軽減します。
- ・ケース外側にキャンプ用品や小物を取り付けられる、荷掛け用のデジーチェーン付き。



画像：09063

【商品詳細】

ブランド：ace.
シリーズ：テオフィールド OD
素材：ポリカーボネート
カラー：ミッチェル迷彩
サイズ規定／品番／外寸サイズ（H×W×D）／重量／容量／税込価格：
機内持込／09061／54×36×25cm／3.2kg／32L／48,400円
預け入れ／09062／67×39×34cm／4.4kg／64L／55,000円
預け入れ／09063／76×46×36cm／5.1kg／95L／63,800円

■ エース株式会社 会社概要

社名 : エース株式会社 ACE Co.,Ltd.

創業 : 1940年1月1日

資本金 : 14億1000万円

代表者 : 代表取締役社長 森下宏明

従業員数 : 1,139名(2025年度・連結)

事業内容 : 旅行バッグ、スーツケース、ビジネスバッグ、スポーツバッグ、ファッションバッグ、旅行小物、
スポーツ用品、衣料用品、生活雑貨、防災用品、アウトドア用品などの製造卸

売上高 : 347.2億円(2025年度・連結)

URL : <https://www.ace.jp/>

系列会社 : エースラゲージ株式会社、エース物流サービス株式会社、エースサービス株式会社、
株式会社エーストレーディング、エース商事株式会社、Zero Halliburton Inc.、大峽製鞆株式会社、
上海西郊愛思箱包有限公司、ACE ITALIAS.R.L.、ACE HONG KONG LUGGAGE CO.,LTD.、
ACE BAGS & LUGGAGE TAIWAN CO.,LTD.、ACE SINGAPORE LUGGAGE PTE. LTD.、
ACE MALAYSIA LUGGAGE SDN. BHD.、ZERO HALLIBURTON(China)CO.,LTD.

【東京本社】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-4-16 神宮前 M-SQUARE

【大阪本店】〒541-0059 大阪市中央区博労町 4-5-2

1940年創業のバッグ&ラゲージメーカー、エース株式会社。1953年には、当時「バッグの一大革命」とも称されたナイロン製バッグを、日本で初めて開発しました。1964年からは国内でスーツケースの製造を開始。長年培ってきた技術と厳しい品質管理のもと、半世紀以上にわたりものづくりを続けています。こうした歩みを重ね、日本のバッグ業界を牽引する存在として発展。現在は、日本発の製品を、米国をはじめアジア・中東欧など世界へ展開しています。